

基本情報

施設名	磯子おひさま保育園
所在地	横浜市磯子区磯子 3-10-8
電話番号	045-759-0130
評価年度	平成 29 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

評価方法

自己評価	
(実施期間) 平成 29 年 11 月 21 日～ 平成 29 年 11 月 22 日	職員会議日に勉強会を設け、6 月、7 月、9 月約 6 時間職員で評価票を読み合わせ話し合う。
評価調査員による評価	
(実施期間) 平成 29 年 11 月 21 日 平成 29 年 11 月 22 日	評価調査者 2 名が、2 日間を通し、保育園内の視察、保育内容、園児の観察を行い、園長へのヒアリング、職員との面接、書類確認により評価を行いました。乳児、幼児の食事の観察を行い、保育環境、子どもの遊びの様子および延長保育の観察を実施しました。
利用者家族アンケート	
(実施期間) 平成 29 年 10 月 2 日～ 平成 29 年 10 月 23 日	保護者に手渡しで配付。 保育園にて回収箱設置。
利用者本人調査	
(実施期間) 平成 29 年 11 月 21 日 平成 29 年 11 月 22 日	0 歳～5 歳児対象に 1 日の生活を通して観察を行い、園生活、食事、遊び等を場面観察から考察をまとめました。

第三者評価結果報告書

《総括》	
対象事業所名	磯子おひさま保育園
経営主体(法人等)	有限会社おひさま
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒235-0016 横浜市磯子区磯子 3-10-8
設立年月日	平成 27 年 4 月 1 日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
評価項目	横浜市版

総合評価

● 磯子おひさま保育園の立地・概要

磯子おひさま保育園は、JR 根岸線磯子駅から徒歩 8 分位、横須賀街道（国道 16 号線）沿いに位置し、以前は磯子プリンスホテルが磯子区の象徴となっていました。大規模マンションに様変わりし、園の国道を隔てた斜交いの磯子区役所が現在は磯子のシンボルとなり、マンション等が増える中、子育てのニーズも増えています。磯子おひさま保育園は、丘陵の東斜面に建設された 5 階建ての園舎であり、近隣の戸建てには大きな桜の木があり、春には白色の園舎を桜色に染めるかのように咲き誇り、車の往来のある国道に沿いながらも自然を身近に感じられる環境にあります。園舎入口は建物が雨除けとなって玄関に誘い、1 階入って直ぐに事務スペースとなっており、2 階に 2 歳～3 歳児の保育室と厨房が設けられ、3 階は 4 歳～5 歳児の保育室、4 階を 0 歳～1 歳児の保育室になっています。園庭は 5 階部分に屋上園庭として設け、固定遊具もあり、子どもたちが走り回れる空間になっています。変則的な土地を活用しながらも各保育室はゆとりがあり、有効的に保育がしやすい環境が整っています。散歩等の戸外活動については、旧磯子プリンスホテル方面に公園群があり、車の通りもある散歩道中は、気軽に平坦な道のりでの利用とはいきませんが、保育士の配慮の下、子どもたちの交通安全ルールを習得するのにも一役あり、子どもたちは公園を目指し、到着した公園でのびのびと遊び、磯子おひさま保育園の子どもたちは元気いっぱいです。平成 30 年 4 月には近隣に「横浜おひさま保育園」が開園するので、その際は合同で遊ぶことを予定しているようです。

●磯子おひさま保育園の保育の方針

磯子おひさま保育園は、平成 27 年 4 月に有限会社おひさまにより設立されました。有限会社おひさまは、横浜市磯子区に磯子おひさま保育園、森おひさま保育園、おひさま学童クラブと、横浜市南区に大岡おひさま保育園を経営しています。保育理念は、「集団の中で子ども一人ひとりが自分らしく生活し、成長出来る場」を掲げ、保育方針に「家庭的な雰囲気の中で、子どもらしくのびのびとすごせる環境を用意し、その中で一人ひとりの個性を引き伸ばせる保育を目指す」こととし、並びに、「子ども、保護者と保育園が信頼しあえるような関係を築いていく」に置き、保育を進めています。定員は、0 歳～2 歳児は各 13 名、3 歳児～5 歳児は各 17 名の 90 名定員としていますが、横浜市の要請を受け、1 歳～4 歳児の待機児童枠を設け、現在、100 名の子どもを預かっています。園舎各階にはそれぞれの工夫を施し、特に、ハイハイする 0 歳～1 歳児の保育室には畳のコーナーを設けて配慮し、活動がダイナミックになる 4 歳～5 歳児の保育室は、1 番大きな保育室を活用してそれぞれのスペースを設け、体制を活動に有効に取り入れる等、細かい気遣いをしながら保育を展開しています。

《優れている点》

1. 【子ども一人一人の個性を大切にした保育】

磯子おひさま保育園では、法人系列園の共通理念に基づき、子ども一人一人の個性を大切にした保育を実践しています。家庭的な雰囲気の中で、子どもらしくのびのびと過ごせる環境を用意し、子ども一人一人の発達に合った対応に努め、そして子ども個々の個性を伸ばし、自立に向けた援助を行っています。特に配慮を要する子どもについては、個別のケースについて会議で検討を図り、記録およびファイリングを行い、クラス会議でも対応方法を話し合い、職員間で共有し、経過を見ながら配慮が適切かどうかの見直しを図り、より良い援助の探求に努めています。

2. 【専門講師による各教室の導入】

磯子おひさま保育園の特徴の1つに、専門講師によるヨガ教室、英語教室を導入しています。ヨガ教室は子どもの体調の維持に有用で、子どもの成長期にエクササイズとして取り組むことにより子どもの身体作りに寄与しています。英語教室は、語学の習得への幼児期の五感を刺激しながら親しみ、文部科学省における小学校から英語教育を導入する意向を見据え、英語教室の取り組みは連続性が可能となります。また、特に、英語文化の点については、言葉と外国の習慣、肌・目の色の違う人を見ても普通に話ができる点等、保育園の英語教育についてのメリットは大きいと思います。さらに、保育中での実施や、日常習い事が行えない面に対する保護者の要望にも応えた取り組みといえます。

3. 【食育の推進・工夫ある取り組み】

磯子おひさま保育園では、積極的に食育に取り組んでいます。季節の風物詩とした食材を活用して楽しみながら食材に触れる機会を設け、食への興味につなげています。夏季はスイカ割りを行い、0歳～2歳児と3歳～5歳児に分かれて全園児で実施し、秋冬はトウモロコシの皮むき体験をして茹でて食し、2歳児からスイートポテト作りを行う等、楽しめる食育として工夫して取り組んでいます。月1回、給食会議を開催し、子どもの喫食状況や気付いたことを話し合い、保育と調理で情報共有を図り、食育に生かしています。献立作成では、季節が感じられる献立を心がけ、給食では、バイキング形式で楽しい食事の時間や、BGMを流してゆったりと給食を味わいながら食す機会を設け、プランターにてみんなで育てた花をテーブルに飾る等、子どもの感性を育みながら楽しく摂れるよう給食を提供しています。また、「おひさま弁当」を企画し、普段の給食をお弁当に詰めて公園や園庭で食べるイベントもあり、食に対して楽しみ、そして楽しい気持ちで食べる工夫に取り組んでいます。

《さらなる期待がされる点》

1. 【さらなる保育士の質の向上について】


磯子おひさま保育園では、毎日、保育が見つめられるよう保育士の振り返りを大切にし、保育士は自己評価を実施し、保育に生かせるよう日々研鑽を図っています。また、クラス会議等での話し合いの充実を図り、保育に役立てるようにしています。近年は、障害手帳を保有していないが、発達障害等が疑われる子どもが増えており、各々の特性も異なるので、それぞれ個別の対応が必要となり、保育士の障害児等の対応経験の差異が表れます。障害を持った子どもの対応や、特に、他の子どもの保育に加え、発達障害児等を考慮した対応が求められる中、当該児一人一人の個別指導計画を立て、実施していく必要に迫られています。地域療育センターや区保健センターの助言・指導を受けつつ、ノウハウの蓄積が急がれます。園の子ども一人一人を大切にしたい保育を根幹に、探究心ある取り組みを生かされることを期待しています。

横浜市福祉サービス第三者評価結果

磯子おひさま保育園	
評価年度	29 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重 領域Ⅱ サービスの実施内容 領域Ⅲ 地域支援機能 領域Ⅳ 開かれた運営 領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上 領域Ⅵ 経営管理

評価領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●理念は、「集団の中で子ども一人ひとりが自分らしく生活し、成長出来る場」を掲げ、子どもを尊重した内容となっています。理念・保育方針は、園内の見やすい場所に掲示して周知し、保護者には説明を行い、保育方針を配付して理解を促しています。職員に対しては、職員会議等で園長から保育園全体の方向性を示し、わかりやすく説明を行い、職員は理解を深めています。 ●保育課程は、子どもの最善の利益を第一義にし、家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮し、全職員で合議を図り作成しています。今後は、法人系列全園共通の保育課程を検討して行く予定です。保護者には、運営会議(委員は1フロア1名)で保育課程を配付して説明を行い、また、毎月の園だよりで月ごとの目標等を示し、保育課程をわかりやすく記載し、クラスの様子と共に周知しています。 ●保育課程に基づき、年齢ごとに指導計画を作成しています。指導計画は細分化し、週の予定、今日の予定として子どもたちに伝え、理解を促し、子どもたちの意見も聞いています。職員にはリーダー会議やクラス会議を通して話し合いの機会を設け、周知し、日々の保育にあたっています。

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



●入園前に入園説明会を実施し、保護者と面接を実施し、記録を行い、家庭での普段の過ごし方を知り、短縮保育（慣らし保育）に生かしています。入園後も年間で面談を実施し、記録を取り、子どもの発達や様子等を把握し、職員会議等で共通認識を図っています。個人の記録として児童票、健康管理表、健康管理台帳を作成し、個人面談月間を年2回設定し、前半は全保護者に実施し、後半は希望者の面談としていますが、必要に応じていつでも面談を受け入れる体制を整えています。

●短縮保育（慣らし保育）については、入園のしおりに詳しく説明しています。慣らし保育では、保護者にも保育に参加してもらい、子どもと一緒に過ごし、親子のやりとりの様子を観察し、保護者、子どもにも不安等の軽減につなげています。また、泣く子どもに対しては主担当の保育士が加わり、一緒に対応するよう配慮しています。保護者との連絡は、0歳～2歳児は、連絡帳を通して連携を密に行い、3歳以上は必要に応じて連絡帳で情報交換を行い、登降園時に十分に話をするように心がけ、安心を提供できるよう努めています。在園児に対しては、保育士1名は持ち上がりをし、1フロアに子どもが知っている保育士を2名配置するよう配慮しています。3歳児になるとヨガ教室や英語教室も取り入れています。

●指導計画は、家庭との連携の項目を設け、保護者の意見、意向を反映させて作成を行い、評価、見直しを実施しています。幼児のクラスは必ず2名の保育士が担当し、指導計画は4歳、5歳児の保育室で話し合い、職員間で共有しています。離乳食やトイレトレーニング等に関しては、保護者と個別対応で行っています。

I-3 快適な施設環境の確保



●施設環境については、常に清潔に保つよう園舎内外の清掃を行い、特に外は、朝に吹き溜まりを掃除し、日中は階段を含めて掃除して清掃を確保しています。園舎は、24時間強制換気装置を設備し、併せて掃除の際に親善換気を行い、陽光を取り入れるようにしています。温・湿度管理は、外気温と室温の差が5℃以内となるよう配慮し、快適な環境を提供できるよう心がけています。

●沐浴設備は4階の乳児保育室に設備し、沐浴槽にベビーバスを設け、0歳児は沐浴して身体の清潔を保ち、肌の状態に応じて温水シャワーを活用する等、健康、清潔に配慮しています。設備ごとに安全チェック表を備え、表に沿って掃除・消毒を行い、毎週点検を実施して衛生管理にも留意しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ●低年齢児の保育室は、低い家具等で仕切り、コーナーを設定して活動に合わせて小集団保育が行えるよう工夫し、0歳児の保育室には畳のスペースを設けています。寝食は、同じ場所で都度、掃除をして確保し、子どもが安心して過ごせるようにしています。居場所の安定しない子どもについては、様子を見ながら見直しを行い、安定する場所についてクラス内で話し合い、配慮に努めています。
<p>I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●3歳未満児については、個別指導計画を作成しています。現在、配慮を要する子どもは在園していませんが、個別指導計画は作成することにしています。気になる子どもについては、保育の中で感じた時には、指導計画の反省の欄に記載するようにしています。保護者には日々の様子を伝え、必要に応じて個別面談を行い、情報収集に努め、共有を図り、適切な支援につなげています。個別指導計画の変更は、基本的に週案で実施し、トイレトレーニング等の重要部分の変更については保護者に説明し、話し合いの上、同意を得ています。 ●子どもの個別の状況、成長状況の記録は、定められた書式に記録し、成長発達記録に記載し、記録内容は全職員で共有を図り、記録内容を事務室の書庫に保管しています。毎日の保育状況やケガ等については、申し送り書、ケガ記録等に記録し、職員の交代時に引き継ぎを行い、伝達漏れのないよう保護者に伝えています。保育所児童保育要録は作成し、就学先の小学校に送付しています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●特に配慮を要する子どもについては、個別のケースについて会議で検討を図り、記録およびファイリングを行い、クラス会議でも対応方法を話し合い、職員間で共有し、経過を見ながら配慮が適切かどうかの見直しを図り、より良い援助の探求に努めています。また、最新情報を職員間で学習し、ファイリングを行い、いつでも確認できるようにしています。 ●障害児保育のための環境整備では、床はバリアフリーにして環境を整えています。医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制を整え、医療関係機関を必要とする子どもが在籍した際は、月案の個別記録（養育の指導と毎月の記録）に記入し、報告を行い、職員間で共通認識を図っています。また、加配対象の子ども（アスペルガーや複合型等）にも対応しています。 ●虐待の定義については、園内研修で磯子区役所の保健師に講師を依頼して研修を受け、職員は理解しています。職員は、日々の保育の中で、子ども、保護者の生活環境の変化に留意し、磯子区役所の

	<p>こども家庭支援センターと連携を図り、報告・相談できる体制を整備しています。虐待早期発見では、虐待チェック表を活用し、朝の受け入れ時や着替えの際に指針を心がけ、様子を察知して職員による見守りや、家族に様子を聞く等、虐待の未然防止に努めています。</p> <p>●食物アレルギーについては、「アレルギーチェック」を備え、かかりつけ医の指示を受けて対応しています。栄養士は、個別に献立を作成し、全職員で目を通して把握し、配膳時に、保育士は調理室から除去食について報告を受け、情報はクラス職員間で共有するように体制を整備しています。給食時は、除去食の専用トレイに名札、除去食の内容を記載し、別テーブルで食事するように配慮を行い、誤飲誤食防止を徹底しています。また、アレルギー児用のお代わりを準備し、個別に皿に入れて準備する等、配慮しています。</p> <p>●文化が異なる子どもへの対応については、文化や生活習慣、考え方の違いについて図鑑を通して知る機会を設け、違いを認めて尊重するようにしています。また、英語教室でネイティブの英語の講師から、文化、生活習慣、考え方の違いを聞いています。外国籍に係わる保護者に対しては、磯子区役所から通訳ボランティアを紹介してもらう等、保護者に応じて活用しています。園からの配付物については、文章にはルビを振ったり、ひらがなで書いて伝える等、ボディランゲージを活用しながら意思疎通を図るように工夫し、日本語が理解できるようにも促しています。</p>
<p>I - 6 苦情解決体制</p> 	<p>●保護者からの意見は、意見箱を設置して意見が述べられる環境作りを行い、運営委員会、懇談会やアンケート等で意見、要望等を聞く機会を設けています。懇談会では、日々の個別の課題についても意見を聞いています。今年度、第三者評価を受審し、利用者アンケートから意見等を抽出し、今後に役立てていく予定にしています。</p> <p>●苦情解決の体制については、第三者委員を交えて対応する仕組みを整備し、第三者委員は、磯子区と都筑区の保育園園長に依頼し、園内に掲示しています。苦情対応については、各家庭に連絡方法を明示したチャート図を配付して周知しています。要望や苦情を受けた場合は、法人代表に報告し、改善できるものは速やかに対応して改善に努め、時間を要する事柄に関しては、乳・幼児リーダーと幹部で検討し、改善策を共有し、全職員に周知して園全体で解決に当たっています。また、行政、法人の弁護士・税理士、社労士等を連携し、助言等を受ける体制を整えています。</p>

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-1 保育内容 [遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●玩具等は、年齢や発達に合わせて揃え、各保育室に玩具棚を設け、棚の高さは子どもの背の高さに合わせ、自由に取っだして遊べるようにしています。園では、子どもが主体的に活動できるよう、0歳児には保育室に畳を設け、月齢に応じた環境作りを行い、4歳、5歳児は大きい保育室とし、クラスの超えて自由に遊べるように工夫しています。子ども一人一人が好きなことをして遊ぶ自由遊びの時間は、午睡後に確保し、設定保育での時間の遊び等、バランスを図りながら保育に当たっています。子どもが自由遊びに作った作品は置き場所を設け、夕方まで飾るよう配慮しています。 ●子どもの遊びについて、子どもの自由な発想の遊びを集団活動に取り入れたり、子どもの発見から絵本や図鑑で調べる等、興味・関心が持てるように援助しています。ダンス、散歩、工作等の一斉活動からルールを守って遊び楽しさを学んでいます。園では、3歳児から英語教室に参加し、英語を学ぶと共に世界の人々について知ることも始めています。雨の日には室内遊びについて子どもたちと一緒に決めています。 ●栽培では、プランターでオクラ、花を育て、年長児が当番を決めて水やりを行い、大切に育てています。飼育ではメダカ、クワガタを飼育し、成長を観察しています。野外活動では、三浦市のソレイユの丘へ保護者と一緒に芋掘りに観光バスを借り切っていく等、少し足を延ばして自然に触れる機会を持ち、親子に楽しめる機会を設けています。地域との交流では、近隣の高齢者施設と交流を図り、公園では他園の園児や地域の人々と交流を多く持つようにしています。 ●年齢や発達状況に応じて、子どもが自発的に自由に表現できる環境作りを行い、道具箱、自由画帳、廃材等を使用し、創意工夫して楽しめるコーナーを設置して表現を楽しみ、保育士のピアノに合わせて全員で歌を合唱する等、音楽に合わせて体で表現する遊びを楽しんでいます。 ●子ども同士のケンカについては、保育士は危険のないよう見守りながら、子ども同士で解決ができるよう援助しています。相手が泣いていたら、どうして泣いているのか、相手の気持ちに気づ

	<p>き、自分の立場に置き換えて理解ができるよう促しています。毎日、朝夕は異年齢で過ごし、日中、異年齢との活動プログラムにより、年上の子どもと年下の子どもが交流する機会も設けています。</p> <p>●健康増進について、毎日、午前中は天候に応じて散歩に出かけ、1歳児は午後もお散歩に出かけています。屋上園庭では、クラスの使用時間をボードに予定を記入し、効率的に遊べる機会を増やすと共に、重なる時にはクラス間で決めています。園では、縄跳び、ヨガ（ブリッジ、柔軟体操等）、ピアノとりズム遊び、マット運動、椅子跳び、フラフープ、パラバルーン等、運動能力を高められるような遊びを取り入れ、体力作りを行っています。子どもの健康では、その日の登園の健康状態を把握し、既往歴に配慮して遊びを選択する等、配慮しています。</p>
<p>II-1 保育内容 [生活]</p> 	<p>●食事については、子どもの食事テーブルに保育士がつき、楽しい雰囲気ですることができるようにしています。盛り付けは、子どもが食べられる一定量を盛り付け、減らす場合は子どもから申告するようにしています。苦手な食材、食べること等については無理強いをせず、保育士が声かけをしながら完食ができるよう支援しています。授乳では、一人一人抱っこして優しく声をかけながら与え、離乳食については子どものペースを大切にしながら進め、自分から食べたいという意欲や行動を尊重し、食が進まない場合は、補助ミルクで補完するようにしています。</p> <p>●食育については、食材に触れる機会を設け、食への興味につなげています。夏季はスイカ割りを行い、0歳～2歳児と3歳～5歳児に分かれて全園児で実施し、秋冬はトウモロコシの皮むき体験をして茹でて食し、2歳児からスイートポテト作りを行う等、楽しめる食育として工夫して取り組んでいます。月1回、給食会議を開催し、子どもの喫食状況や気付いたことを話し合い、保育と調理で情報共有を図り、食育に生かしています。配膳の際は、食器の配置をわかりやすく絵にしたランションマットを作り、食事マナーも伝えています。</p> <p>●献立作成では、園独自に1か月サイクルで作成しています。季節が感じられる献立を心がけ、給食では、バイキング形式で楽しい食事の時間や、BGMを流してゆったりと給食を味わいながら食す機会を設け、プランターにてみんなで育てた花をテーブルに飾る等、子どもの感性を育みながら楽しく摂れるよう給食を提供</p>

しています。また、「おひさま弁当」を企画し、普段の給食をお弁当に詰めて公園や園庭で食べるイベントもあり、食に対して楽しみ、そして楽しい気持ちで食べる工夫に取り組んでいます。食器は、乳児はワンプレートを採用し、幼児は硬質磁器の4種類の食器や鉄製のスプーンを活用しています。

●子どもの喫食状況は、毎日、残食量を記録し、喫食状況を調理師間で話し合い、栄養士はできるだけ各クラスの巡回に努め、給食会議で気づき等を話し合い、保育と調理で情報を共有し、子どもの好き嫌いも考慮した献立の改善点や、盛り付け、調理法などの改善に努めています。

●献立表は、保護者に次月の献立表を事前に配付し、子どもに人気のメニューはレシピも記載し、また、毎日の食事はスライドショーにして画像で提供して保護者が食に興味を持てるよう工夫しています。懇談会（全員）や保育参加時に希望者に試食ができる機会を提供し、子どもが食べる量や園の味付け等を知らせています。入園説明会時には、離乳食の食事形態（月齢に応じて3種）も供覧してもらっています。

●午睡については、落ち着いて眠れるよう工夫し、室内の採光に配慮して心地良く眠れるよう環境を整えています。乳幼児突然死症候群 SIDS の予防では、睡眠チェック表を作成し、0歳児は5分、1歳児以上は10分ごとにうつ伏せ寝と呼吸チェックを実施しています。保育士は、入眠時に子守歌や絵本等を読み聞かせ、子どもが安心して眠りにつけるように工夫しています。

●トイレトレーニングについては、個人差を尊重し、散歩前・食事前・午睡前等にトイレに誘い、排泄ボードで個々のリズムを把握し、間隔を見極めて保護者に伝え、連携を密にして個別にトレーニングを進めています。1歳児については無理強いを控え、午睡後にトイレに座ってみて、排泄ができたなら褒めて、繰り返し援助しながら進め、2歳児になると自然にオムツが取れるようにしています。お漏らしをした際は、子どもの羞恥心に配慮するよう心がけ、シャワーを活用する等、気持ち良く過ごせるようにしています。

II-2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [健康管理]



●健康管理は、「保育安全マニュアル」を整備し、重要事項説明書に感染症の対応について記載し、保護者に説明を行い、別紙で感染症の登園停止基準を配付しています。入園時の児童票の情報は個別ファイルに綴じ、全職員で子どもの既往症を把握し、保護者と連携を図るようにしています。日常の子どもの健康状態は、保育士が観察に努め、送迎時に保護者に伝えています。歯磨きについては、1歳半後半から歯磨き指導を実施し、昼食後は歯磨きを行っています。園では、5歳児の歯磨き当番を設け、小さな子どもの歯磨きのお手伝いをしています。乳児は、保育士が仕上げを行っています。

●感染症等に関しては、定期的にお便り等で健康に関する情報を提供し、子どもが感染症を発症した場合は速やかに連絡してもらい、ホワイトボードや玄関への貼り紙、紙面等で周知し、蔓延の防止に努めています。園内で感染症が発症した場合は、保健室(事務室内)に隔離し、保護者の早いお迎えを依頼し、感染症蔓延に注意しています。地域や最新の感染症情報は、行政から入手し、職員間で情報を共有し、各クラスおよび玄関に掲示して注意喚起を図っています。嘔吐物処理の方法は園内研修で習得しています。

●年2回、内科健診と年1回歯科検診を実施し、看護師が子どもの健康管理を行っています。診断結果は、保護者に速やかに伝えています。子ども一人一人の健康管理台帳(身長他)、健康管理票(アレルギー他)を作成し、情報は会議等で全職員と共有し、家庭と連携を図り、子どもの健康に配慮しています。

II-2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [衛生管理]



●衛生管理について、衛生管理のマニュアルを備え、定期的に見直し、マニュアルに沿って研修も実施しています。清掃については、共用スペースの玄関は事務室内の職員で行い、各保育室は職員が当番制で実施し、定期的に園内の害虫駆除を行い、清掃・衛生管理に努めています。各保育室に手指の消毒を備え、手洗いのブラックライト・チェックを行う機会を設け、子どもたちが体験し、手洗いを身に付けています。

II-2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [安全管理]



●安全管理では、家具等は耐震ジェルで固定し、他は低い家具を採用し、備品等は安全対策を講じています。緊急時対応では、園の危機管理対策要綱を備え、緊急連絡体制を整備して職員に周知しています。毎月、避難訓練を実施し、年2回、不審者対応訓練も行っています。園では、1階の事務室にAEDを設置し、平成29年8月に園内研修で消防署員を講師に招き、職員は救急救命法およびAEDの使い方を受講し、緊急時に備えています。園内の安全に関して、「安全チェック表」にて各クラスでチェックを行い、紙面に残し、修繕が必要な箇所については、園長・主任に報告し、速やかに対応するようにしています。

●子どものケガについては、「怪我記録簿」に記録し、軽傷であっても必ず保護者に連絡し、状況の報告を行い、通院の場合は受診後の結果を伝えています。保育中のケガ等については、ヒヤリハットや事故報告書に記録し、職員会議等で周知を図り、再発防止に努めています。

●外部からの侵入に対して、不審者等の侵入防止策（出入り口の暗証番号）が講じられ、園内に監視カメラを16ヶ所設置し、さらに、セコムのパニックボタンを設置し、安全を確保しています。不審者等に対する緊急通報体制を整え、区役所、近隣住民、町内会長等と連携を図っています。

II-3 人権の尊重



●人権の尊重は、保育、保育士の基本と心得、職員は、子どもに対して威圧的な言葉遣い、強制、自尊心を傷つけるような保育は行っていません。子どもの気持ちに寄り添って、穏やかにわかりやすい言葉で話すよう心がけています。また、子どもの呼び方や、かかわり方等を確認し合い、全職員で共通認識を図っています。

●他人の視線を意識せず過ごせる場所として、必要に応じて衝立や机等で空間作りを行い、保育士等の視線を感じないように配慮しています。子どもと1対1で話す場合は、声が通り抜ける落ち着いた空間で話すよう工夫し、威圧感を与えないように配慮しています。

●個人情報の取り扱いや守秘義務については、入社時に個人情報の取り扱いについて説明し、誓約書を提出しています。保護者には、入園説明会にて、重要事項説明書、入園のしおりで個人情報の取り扱いについて説明し、署名、同意を得ています。

	<p>●性差に関する配慮では、遊びや行事の役割、持ち物や服装での区別、順番、グループ分けや整列も性別で区分けすることはせず、父親・母親の役割を固定的に捉えた話し方や表現はしていません。また、無意識に性差による固定観念で保育をしないようクラス会議等で振り返りを行っています。</p>
<p>II-4 保護者との交流・連携</p> 	<p>●理念や保育の基本方針は懇談会、入園説明会、運営委員会等で説明し、登降園時にも保護者に保育を通して伝え、信頼関係の構築に努めています。また、月の目標を決め、園だよりや連絡帳で日々の保育を理解してもらえるよう心がけ、日々理念に基づいた保育の実践に努めています。</p> <p>●園生活での様子や活動内容は、連絡帳を活用して伝え、その日の子どもの様子は送迎時にも口頭で伝えていきます。保護者との連絡、伝達事項は、職員間で情報を共有し、連絡帳で情報交換を行っています。</p> <p>●個人面談は定期的に全保護者に実施し、年長児は年3回実施し、4歳以下は年2回実施し、内1回は希望者に行っています。保護者の相談については、相談室を使用し、プライバシーを確保できるように配慮しています。相談は担当保育士が対応し、必要に応じて園長が対応するようバックアップが可能であることを保護者に伝えていきます。相談内容は記録し、特に、気になる子どものケースでは継続的にフォローを行っています。</p> <p>●園生活に関する情報は、定期的に園だよりを発行し、その日の保育については連絡帳、各クラスのホワイトボードに保育内容、1日の様子の写真を掲示して知らせていきます。保護者にも喜ばれています。</p> <p>●保護者の保育参加・参観については、年間行事予定表を配付し、保護者が予定を立てやすいように配慮しています。保育参観は英語教室の時間を見てもらい、保育参加では公園で一緒に遊び、食事を共にする等、楽しく過ごせるよう提供しています。保育参加・参観は保護者の要望に応じて、受け付けています。</p> <p>●保護者の自主的組織は現状、保護者から希望や要請を受けていないので設けていません。園長、保育士は、保護者とのコミュニケーションに努め、意見交換がしやすい雰囲気作りを心がけていきます。保護者から要請があれば、活動への参加、場所の提供はできるようにしています。</p>

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>III-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民との交流では、地域子育て支援拠点「いそびよ」主催のイベントに参加し、地域のニーズを把握するようにしています。その他、磯子区役所主催の行事や、「子育てカフェ」、「磯子区のわくわくフェア」等への協力をを行い、磯子区の公立保育園（洋光台保育園）のネットワーク保育士を中心とした「わくわく広場」に参加し、園の保育士が応援に参加しています。また、参加できるイベントには出席し、園のパフレットやポスター等で園の紹介をしています。 ●地域の子育て支援ニーズについて、毎月の職員会議で取り上げて話し合い、地域子育て支援事業の会議にも参加して情報を全職員で共有し、地域のニーズ等を検討する機会を設けています。 ●地域の子育て支援では、交流保育、園庭開放、夏季のプール開放、育児相談（予約制）を実施し、利用日時等を案内しています。園見学者からも育児相談を受け付けています。また、法人が運営する「おひさま学童クラブ」、「森おひさま保育園」、地域小学校と連携を図り、交流保育を実施しています。地域小学校との交流では、年長児が小学1年生と交流を行っています。地域住民に向けた子育てに関する講習、研修会については、現状、実施していませんが、今後の取り組みとして望まれます。
<p>III-2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民に対する園の情報提供では、磯子区の子育て情報サイト、広報よこはま磯子区版等に掲載して情報提供しています。相談事業については磯子区の広報誌や、園のホームページに子育て相談、園の紹介を掲載し、育児相談（予約制）の提供等を発信しています。 ●関係機関・団体等の連絡先リストはすぐ目につくところに掲示し、職員で共有できるように整理、ファイリングも行っています。関係機関（磯子区こども家庭支援課・児童相談所・病院・横浜市南部地域療育センター等）とは連携を図り、連絡担当は、園長、副園長が行い、相談・助言を得られる関係を構築しています。

評価領域 IV 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<p>●地域への園の理解促進のための取り組みとしては、法人系列園、法人とで「夏祭り」を実施し、子ども、保護者、その友人等が参加し、運動会では、磯子区立浜小学校の体育館を借用し、地域の方や保育園のOB等も参加してもらう等、園の理解を促す機会にしています。地域と協働による行事には、「いそびよ」の関係者、近隣の企業の方等が参加しています。地域との交流では、地域の幼保小の年長児で交流保育を行い、職業体験では地域の小学校、中学校等の学生を受け入れています。園の備品等の貸し出しでは、「わくわくフェスタ」に道具や、玩具を貸し出し、ペアサートを保育士が協力しています。また、卒園式終了後には近隣に挨拶を行い、卒園児の人数、継続して来年度の支援もお願いしています。</p> <p>●子どもと地域との交流では、地域の文化・レクリエーション施設等を利用し、地区センター、磯子区役所、磯子図書館等を利用しています。また、お泊り保育時の買物に駅前のスーパーに行き、地域の人々と交流する機会をもっています。地域の小学校とは、連携を図り、研修会に参加し、職員間で交流を図っています。年長児は、小学1年生と定期的な交流を通して森浅間神社の豆まきに参加する等、交流を通して地域に触れています。</p>
<p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<p>●園のサービス内容・保育方針などの情報提供は、園のホームページやパンフレット、磯子区の保育園広報誌、横浜市の「ヨコママはびねすぽっと」、「FMヨコハマ」等に保育園の紹介をしています。園見学者や来園者には料金等、必要な園の情報を提供しています。</p> <p>●利用希望者からの電話問い合わせ等については、丁寧な対応に努め、園見学を案内しています。磯子おひさま保育園の見学者(年間110家族)はとても多く、見学は予約制で受け入れ、午後5組～6組にて園内を案内し、入園のしおりを渡し、園の特徴や子どもの様子を伝えています。</p>

IV-3 ボランティア・
実習の受け入れ



●ボランティアの受け入れは、事前にオリエンテーション、研修を実施し、園のルール、保育内容等の理解を促し、受け入れていきます。

●実習生の受け入れでは、保育士養成校と連携を図り、充実した実習となるよう受け入れていきます。実習生についてはオリエンテーションを実施し、実習中は職員と意見交換できる場を設け、最終日は反省、意見交換をし、園運営の参考につなげていきます。

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類

評価の理由(コメント)

V-1 職員の人材育成



●必要な人材の採用については、法人で保育所運営に必要な人材構成、要員を把握し、関連の保育園との人的交流も併せて人材確保に努めています。人材育成については、園長、主任が職員一人一人と面接を実施し、自己評価の振り返り、事前の職員アンケートにより、個々の希望を把握し、目標・課題を共有し、意欲につなげられるよう育成に努めています。


●職員、非常勤職員の研修体制については、各職員のニーズを反映させて研修計画を作成し、外部研修では、必要な研修に積極的に参加しています。研修受講後は、会議等で報告を行い、報告書は全職員が閲覧して共有化を図り、保育の実践につなげ、資質向上に努めています。園内研修も実施し、全職員で専門技術、知識を共有し、保育に生かしています。

●非常勤職員の配置や業務内容については、職員会議等で詳細に子どもの状況・情報を共有し、日常の留意点等を確認しています。非常勤職員の指導については、マニュアルに沿って主任が指導にあたり、責任の下、コミュニケーションを図りながら円滑に保育を進めています。


V-2 職員の技術の向上



●園では、職員の経験年数に応じた研修会への参加を促し、スキルアップを目指しています。職員の技術指導については、行事の担当決めにおいて、経験者と未経験者、入職後浅い職員を組み合わせ、OJTで技術の伝達と、学ぶ機会を設けています。また、良いサービス事例は会議等で発表し、全体への水平展開を心がけています。外部の指導では、英語教室、ヨガ教室を通して指導を受けています。

	<p>●職員の自己評価は、園独自に細かいチェック項目を作成して実施しています。各クラスの年間指導計画から月次、週次に展開し、保育日誌等を通して活動内容、子どもの育ちや意欲、取り組む過程等を大切に保育の振り返りを行い、業務改善につなげています。また、次期のねらい等につなげ、クラス内で反省、評価を行い、子どもの意欲や活力につながる計画を検討しています。</p> <p>●保育所の自己評価については、今年度の第三者評価受審により園の課題、改善に向けて取り組む延長線上で、来年度から保育所の自己評価票を作成し、毎年、評価を実施していく予定でいます。</p>
<p>V-3 職員のモチベーション維持</p> 	<p>●園では、職員の経験年数、能力や習熟度に応じた期待水準として、主任までの職位を示して作成しています。行事等の役割（係、担当）は年度当初に計画し、年間を通して保育にあたるよう示し、係、担当には特定の範囲を設けて権限を委譲し、進めています。職員から要望があれば、検討の上、改善を図っています。また、職員アンケートを実施し、個々の希望、意向を吸い上げ、より良い園職場環境作りに努め、職員のやる気につなげています。</p>

評価領域 VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<p>●職員の守るべき法・規範・倫理等は、「職員心得」、就業規則に明示し、職員は守るべき倫理を遵守しています。園では、運営委員会を設定し、年3回、経営・運営状況・保育に関する事項を話し合い、より良い園運営に尽力しています。運営委員会では決算等も公表し、紙面にて保護者に報告しています。リスクマネジメント・コンプライアンスについては、会議等で他施設の不正、不適切な事案、事故事例等について議題に取り上げて周知し、守るべき規範について再確認しています。</p> <p>●環境整備では、磯子おひさま保育園はECO保育所の認定を受け、環境方針もECO保育所の趣旨に沿って展開しています。また、横浜市の3R夢（スリム）政策に沿い、ゴミの分別、電気はLED化にして節電を心がけ、電気は自動消灯回路を設備しています。プランターで花の栽培等により緑化促進を行っています。ゴミは産業廃棄物事業者を利用して適切に処理をしています。園では、公園で遊ぶ前は、遊具の点検・ゴミ拾いをして安全確認してから子どもたちが安全に遊べるようにしています。</p>

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



●園長は、理念や方針を明示した「職員心得」を全職員に配付して説明し、職員会議等でも話し合いの場を設け、理解を促しています。職員に対しては、自己評価を実施し、定めた目標を共有し、年1回の面接を通して理念、基本方針について理解度を確認し、意識統一に努めています。

●重要な意思決定については、運営委員会、職員会議、懇談会で説明を行い、職員、保護者に了解を得て実行しています。通常の変更等に係わる決定については、文書や園だより等で伝え、必要に応じて直接、保護者に伝えるよう配慮しています。園長、副園長は、保護者から意見が言いやすいよう雰囲気作りを心がけ、より良い園作りに尽力しています。利用者アンケートからも評価を得ています。

●園では、スーパーバイズができる主任クラスの育成に努め、園全体を把握する副園長、各フロアの主任の育成に努めています。副園長は、毎月の計画において、フロア主任の意見を聞いた上で計画の素案を作成し、月1回のリーダー会議での意見を組み込んで策定しています。また、職員の業務状況を把握し、個々の精神面、肉体面に配慮して、職員一人一人の能力や経験に応じて助言や指導を行い、円滑な業務に向けて尽力しています。

VI-3 効率的な運営



●園長は、事業運営面に影響のある情報に関して、横浜市役所、磯子区役所、園医、税理士、社労士等から情報を得、得た情報・課題の分析をリーダー会議で検討し、安定した施設運営に努めています。また、運営面での重要な改善課題については、職員に計り、提案についてはできる限り対応するよう努力しています。

●中・長期的計画について、園長は、事業の方向性を定め、組織運営、事業拡大に備え、運営やサービスプロセスの新たな仕組みを検討し、事業継承を含め、次代の経営者の育成を視野に入れて取り組んでいます。専門家等のアドバイスでは、税理士、労務士等から必要に応じて助言を受け、より良い園運営に尽力しています。

磯子おひさま保育園

(株)R-CORPORATION

* 観察調査 平成 29 年 11 月 21 日・22 日	
日	
* 保育の観察	磯子おひさま保育園を、調査者 2 名で全クラスの視察、観察を行いました。園のカリキュラムに沿って午前の保育観察を行い、保育士とのかかわり方、園児の様子観察を行いました。各年齢については 1 日の保育の観察を通してそれぞれの特徴を捉えて記しています。

■子どもの様子・保育の様子

<0 歳児、1 歳児>

●園舎 4 階が 0 歳、1 歳児の保育室になっており、食事時間の様子を観察しました。保育室は、畳の部屋が設けられ、寝食を区別したコーナー分けがされ、食事のスペースには保育士に抱っこされた子どもや、椅子に座って食事を待つ子ども等、月齢に合わせた食事スタイルで集まり、子ども一人一人のペースに合わせて保育士に、「おいしいね」と声をかけてもらいながら、食事を食べさせてもらっていました。中には、口をもぐもぐしながらウトウトする子どももいて、保育士に起こされながら食事を完食しました。0 歳児はミルクの後に沐浴を行い、お腹いっぱい、体も温まって気持ち良く、ぐっすりと眠っていました。午睡後は、遊びの場のコーナーで好きな玩具で機嫌良く遊んでいました。

<2 歳児>

●2 歳児は、園舎 2 階の右側に保育室があり、16 名の子どもたちが遊んでいます。午前中は、5 歳児と同じ「森 2 丁目公園」に散歩に出かけ、他の保育園児や、後から 5 歳児が合流して遊びました。2 歳児はブランコを中心に遊び、保育士にブランコを押してもらって、「キヤッ、キヤッ！」と言いながら喜んで、「もっと、もっと」と言ったり、怖がったりしながらとびっきりの笑顔でとても嬉しそうでした。散歩から帰ると、食事は 5 歳児と一緒にみんなで楽しくテーブルを囲んで食事をしました。午睡の準備では、昼食時に保育士が部屋の窓側にパジャマに着替える場所を作り、食後に子どもたちはパジャマに着替え、保育士に手を添えてもらいながらお着替えをしていました。その間に食事のテーブルを片付け、掃除をして布団を敷き、午睡の場所を整えます。パジャマに着替えた子どもたちは保育士に援助してもらいながら歯磨きを行い、「上手に磨けたね」、「さあ、お布団に入ろうね」と

保育士の声と共に、歯磨きが終わった子どもからお布団に入っていました。

<3歳児>

●3歳児は、園舎2階の2歳児の反対側の左側に保育室を設け、大人数の部屋には大きなホワイトボードがあり、子どもたちに予定を示すよう設けられていました。子どもたちは思い思いに自由遊びをし、3歳になってすぐの子ども、4歳に近い子ども等、20名の子どもたちは保育室で元気に遊んでいました。調査者に興味を持ち、「どこから来たの?」と話しかけて来る子ども等、人懐っこく、のびのびとしています。午睡では、食後に保育士が掃除をし、保育室全体に布団を敷いて寝る準備を整えます。食後は一人でパジャマに着替え、歯磨きも上手に行い、全て終わった子どもから布団に入り、隣の子どもとふざけたり、すぐに眠る子ども等、自立心も芽生え、20名の友達の中で切磋琢磨して成長しているようでした。

<4歳児>

●4歳児は、園舎3階の一番大きな部屋を5歳児と一緒に共有し、部屋の左側を4歳児の保育室としています。11月22日は、5歳児と一緒に看護師による「手洗い」の健康指導があり、11時から「細菌チェック」を実施しました。始まりは、看護師から「ばい菌くん」の紙芝居を行い、「外から帰ってきて手を洗わないと、ばい菌くんが体の中に入って「ドンドコ、ドンドコ」大暴れしてお腹が痛くなるよ～」と少し怖いお話しに子どもたちは真剣な面持ちで紙芝居に見入り、「わぁ～」と口を開けて見る子ども等、ざわざわしていた子どもたちがシーンと静かになり、信憑性のある物語と看護師の上手な話に、子どもも大人も聞き入ってしまいました。紙芝居の後は、洗い方の手本を見せて、

「手洗い歌」を歌いながら手洗いの練習をしました。子どもたちは、「～拝み手、カメさん洗い、お山洗い、オオカミさん洗い、1本洗い～」と歌詞に合わせて手の洗い方の実践を行い、楽しく洗い方を学びました。今度は、ブラックライトと光ジェルを用いて担任が実演を見せ、歌に合わせて石鹸で手を洗った後に手をブラックライトにかざし、洗い残ったかどうかを子どもたちに見せます。子どもたちは「光ってる!」と言いながら、子どもたちも4つのグループに分かれてジェルを実体験し、「きたない～」、「わ～すごい」とびっくりしていました。保育士から「爪、手首、手の甲が光ってるね、絆創膏にも光ってるよ」と教えてもらい、もう一度、オオカミさん洗い、1本洗いをして子どもたちの手はきれいになりました。紙芝居のお話から手洗いの実体験をし、子ども自身で健康に気を付けることが伝わった時間でした。

<5歳児>

●5歳児の保育室は、園舎3階の一番大きな部屋を4歳児と一緒に共有し、部屋の右側を5歳児が使用しています。午前中、5歳児の散歩に同行し、森2丁目公園にお散歩に出かけました。1階の玄関に集まり、靴脱ぎ場で靴を履き、ブルーの帽子を被って元気に表に向かいました。園長先生が見送り、子どもたちは園長先生が好きなようで、「園長先生〜!」と呼び、順々に笑顔でハイタッチをして、出かけます。子どもたちは整列して2人ずつ手をつないで行くところ、後列の3人が誰と手をつなぐ、つなぎたくない揉め始め、保育士が仲介に入り、一人が先生と手をつなぐことで手をつなぎたかった二人はご満悦でやっと出かける準備が整いました。散歩途中は、列の間が開いたり、凹凸しながら歩く子どもたちに保育士のかげ声で整い、手を離れて転んだ子どもがいた時は保育士から「くじら組さんでしょ!ちゃんと歩かないとだめでしょ」と優しく注意があり、しばらくすると、話に夢中になって電信柱にぶつかる子どもがいる等、子どもたちにとって散歩途中も注意しながら外の開放感で遊びが入るようですが、保育士がやさしく諭していました。公園に着くと、緑の帽子の子どもと、オレンジの帽子の子どもたちが遊んでいました。オレンジの帽子の子どもたちは、先に出発したつき組の2歳児の子どもたちでした。つき組さんと挨拶を交わし、遊具を他の保育園児が使っていたので、木々のたくさんある広場で自由に遊び、子どもたちは公園内を元気よく走り回っていました。縄跳びでも遊び、3~4名の子どもが縄跳びを始め、保育士から「上手、上手!」と褒めてもらい、調子を上げてがんばって縄跳びで遊んでいました。子どもたちにとって森2丁目公園は好きな遊び場だそうで、テーマを決めて遊んだり、元気に木々の間を走ったり、遊具で楽しく遊んでいます。園に戻り、2歳児と一緒に食事をした後は、午睡ですが、運動会の時期から徐々に午睡を減らし、今日は1時に休憩し、2時頃に起床して、静かに園舎屋上の園庭で遊びました。園庭遊びの時は、水筒を持って集合し、異なった2つのすべり台があり、縄で登って滑ったり、筒状の穴から登って滑るようにできており、子どもたちは滑り台とその周りを走り回って元気に遊んでいます。保育士と追いかっこしたり、楽しそうな笑い声が響きます。そして、3時前に4歳児が起床する頃に整列して保育室に戻って行きました。健康で元気な子どもたち、就学前を意識してルールを覚え、遊ぶ時は思いっきり遊び、楽しく園生活を送っている姿を観察できました。

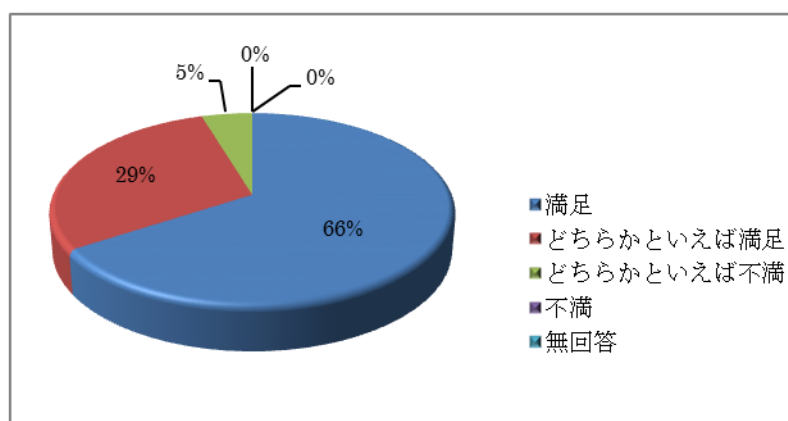
【磯子おひさま保育園 利用者アンケートの特徴】

実施年度 / 評価項目手法	29年度 / 横浜市版
アンケート調査対象	利用者家族 配布世帯数（世帯数 89）
有効回答数	85 世帯
世帯総数に対する回答者割合（%）	96%

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
12 世帯	16 世帯	15 世帯	18 世帯	11 世帯	12 世帯

未記入 1 世帯

*回答があった利用者満足度の内訳（%）



●利用者アンケートの特徴として、総体的に『満足』が高く、かつ、一項目を除いて平均的な値でバランスがとれています。『満足』の高い項目では、「給食の献立内容」であり、満足は 75%を示し、「お子さんが給食を楽しんでいるか」についても、満足が 72%となっています。さらに、この項目では、『満足』と『どちらかといえば満足』を合わせて（以下、「ほぼ満足」という）見ると、どちらかといえば満足が 28%であり、100%ほぼ満足を得ています。65%以上の『満足』を示す項目では、「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」（満足：67%）、「お子さんへの体調への気配り」（満足：66%）、「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応」（満足：65%）、「お子さんが大切にされているか」（満足：65%）等の項目が挙がり、ほぼ満足においても 90%以上を示しています。また、全ての項目が 73%以上の「ほぼ満足」を得ており、利用者、保護者に対して高い満足感を提供していることがわかります。特に、「ほぼ満足」の高い項目では、『満足』でも高い%を示していた項目は、「給食の献立内容」についてが、満足 75%、どちらかといえば満足 21%、どちらかといえば不満 2%、その他 1%にて、ほぼ満足は 96%となっており、「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」についても、満足 61%、どちらかといえば満足 36%、

どちらかといえば不満 1%、その他 1%にて、ほぼ満足は 97%を得ています。「遊びを通じて友だちや保育士との関わりが十分もてているか」については、満足 52%、どちらかといえば満足 45%、どちらかといえば不満 2%、その他 1%にて、97%ほぼ満足を示しています。

●アンケートの自由記述からは、「それぞれの先生（保育士）に良くしてもらい、温かい保育に感謝している」、「安全な施設で安心して任せている」、「保育士の臨機応変な対応に助かっている」、「教育方針がしっかりしていて学ぶことが多い」、「遊びを工夫して子どもが楽しめるようにしている」、「きめ細やかな対応に大変満足している」、「どの保育士も頑張っていることがわかり、感謝している」、

「隅々まで行き届いた配慮に感謝している」、「食育や給食に非常に力を入れ、バランス良い食事に満足している」、「食育の機会が増えて嬉しい」、「保育士の皆さんは優しく、良く子どもを見てもらっている」等、感謝と喜びの声が多く挙がっています。

●『不満』および、比較的『満足』が低い項目については、「子どもが戸外遊びを十分しているかについて」が挙げられ、満足 42%、どちらかといえば満足 32%、どちらかといえば不満は 18%、不満 5%、その他 4%という結果になっています。自由意見、その他でも意見が寄せられている項目となっています。また、「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換について」では、満足 46%、どちらかかといえば満足 36%、どちらかといえば不満 12%、不満 4%、その他 1%、無回答 1%を示し、不満ということより、要望、工夫等の提案の気持ちが込められた結果に思われます。

保育園の基本理念や基本方針についてでは、よく知っているが 19%、まあ知っている 54%、どちらともいえない 11%、あまり知らない 12%、まったく知らない 1%、無回答 4%という結果になっています。しかし、それらの賛同については、賛同できる 58%、まあ賛同できる 16%、どちらともいえない 1%、無回答 25%にて、74%がほぼ賛同を示しています。利用者からはサービスの満足を高く得ている保育園ですので、保育の根幹なる保育目標、保育方針をより一層、周知・理解を促す取り組みに期待いたします。

●アンケートの主な意見では、体を動かす時間、外で遊ぶ機会、運動面での要望と午睡との関連から、家庭での睡眠への影響についての意見が比較的多く挙がっています。また、園での子どもの様子について、情報提供方法について、連絡帳に関する工夫、提案等の意見や、保育者の名前、顔の一致における提示への要望、園内の清掃・清潔さについて、不審者対策の意見が挙がっています。また、タイムカードに関しても意見が複数挙がっています。さらに、園への要望・意見のフィードバックや、行事等での保護者アンケートの実施の要望等、園運営への改善、期待が込められた意見もいただいています。それぞれに関しては園から説明、周知されていると思いますが、保護者からの意見、要望等について受け止め、利用者の理解や協力につなげられるよう、日々の振り返りと見直しを図る機会を設け、園の良い点を生かし、継続してさらなるより良い園作りを期待しています。

●総合的に、『満足』は 66%の支持を頂き、『どちらかといえば満足』は 29%、『どちらかといえば不満』5%にて、サービスの提供について、95%「ほぼ満足」している、と捉えることができます。

利用者調査項目（アンケート）

有限会社おひさま 磯子おひさま保育園

【保育園の基本理念や基本方針について】

※上段%、下段人数で示しています。

問 1

利用者調査項目		よく知って いる	まあ知っ ている	どちらとも いえない	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答
1	あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	19%	54%	11%	12%	1%	4%
		16人	46人	9人	10人	1人	3人
2	あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
		58%	16%	1%	0%	0%	25%
		49人	14人	1人	0人	0人	21人

【保育園のサービス内容について】

問 2 入園する時の状況について

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
3	見学の受け入れについては	60%	21%	2%	0%	14%	2%
		51人	18人	2人	0人	12人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・知らない。 ・見学しなかった。(8) ・妊娠中に見学しなかったのですが、受け入れ期間が決まっていたのが残念でした。ただ、対応は満足です。 ・開園前だったため、見学はなかった。 ・上の子が通っていたので見学しておらず、わからない。 ・まだできているうちに申し込みをした。 ・当時は代表が自ら行って下さって、大変親切でした。 					

4	入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	62%	24%	7%	0%	5%	2%
		53人	20人	6人	0人	4人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・見学していないのでわからない。 ・移転前より通っているため、わからない。 ・開園前のため、新しい場所が見学できなかった。 ・当時は代表が自ら行って下さって、大変親切でした。 ・3歳からの入園でしたが、0歳、1歳が中心の説明会だった。別日に分けてもらえると助かった。 					
5	園の目標や方針についての説明には	53%	38%	5%	0%	2%	2%
		45人	32人	4人	0人	2人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・当時は代表が自ら行って下さって、大変親切でした。 					
6	入園時の面接などで、お子さんの様子や育成歴などを聞く対応については	56%	32%	5%	0%	4%	4%
		48人	27人	4人	0人	3人	3人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・小さい部屋で3人同時のヒアリングだったので、改善の余地ありだと思います。 ・わからない。 ・面接はなかったと思う。 ・覚えていない。 ・当時は代表が自ら行って下さって、大変親切でした。 <p>入園説明会で行うのかと思ったら別日に行いたいと言われ、すでに働いていることもあり同日にできるようにしてほしい。</p>					
7	保育園での1日の過ごし方についての説明には	46%	42%	8%	0%	1%	2%
		39人	36人	7人	0人	1人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・当時は代表が自ら行って下さって、大変親切でした。 					
8	費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったかを含めて）	58%	31%	5%	1%	4%	2%
		49人	26人	4人	1人	3人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・防災頭巾購入後、やはり園でヘルメットを用意したので、必要ないとなって不満があったが、それ以外はわかりやすいと思う。 ・覚えていない。 ・当時は代表が自ら行って下さって、大変親切でした。 					

問3 保育園に関する年間の計画について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
9	年間の保育や行事についての説明は	45%	46%	6%	2%	1%	0%
		38人	39人	5人	2人	1人	0人
《その他意見》		・日程が決まるのが少し遅いです。					
10	年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	38%	42%	5%	4%	9%	2%
		32人	36人	4人	3人	8人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・特に要望を伝えたことはないが満足。 ・不明 (4) ・まったくアンケートを取らない (運動会、クリスマス会等) ・そもそも要望を聞かれていない。 					

問4 日常の保育内容について

「遊び」について

		満足	どちらか い えば満足	どちらか い えば不満	不満	その他	無回答
11	クラスの活動や遊びについては (お子様が満足しているかどうか)	53%	41%	4%	2%	0%	0%
		45人	35人	3人	2人	0人	0人
《その他意見》		・内容がよくわからない。					
12	子どもが戸外遊びを十分しているかについては	42%	32%	18%	5%	4%	0%
		36人	27人	15人	4人	3人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・不満ではないが、もう少しお散歩が増えると望ましい。 ・園庭がある園に比べ、砂遊びする機会が圧倒的に少ない。 ・午前中の数十分しか遊んでいない。そもそも公園が少ない。子どもが車を気にせずボール遊びしたり、思いっきり走れる公園がほしい。 ・園庭がないので仕方がないが、泥遊び等、この時期にしかできないことをもってほしい。 ・ボール遊びができない。午後の外遊びが少ない。 					

13	園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてある、年齢にふさわしいかなど)	58%	31%	6%	2%	4%	0%
		49人	26人	5人	2人	3人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・小さい子どもは舐められるので、衛星管理がどうされているのか疑問があります。 ・よく知らない・ ・よくわからない。 ・壊れているおもちゃもある。 ・マクドナルドのおまけが多いと思う。 ・おもちゃが多すぎる気がする。自由時間でも工作をしたりしてほしい。 					
14	自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	33%	51%	8%	5%	4%	0%
		28人	43人	7人	4人	3人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・よく知らない。 ・不満ではないが、もう少しお散歩が増えると望ましい。 ・よくわからない。 ・大きい子たちは芋掘り等しているようなので、早く参加できるようになるといいなと、楽しみにしています。 ・公園が少なすぎる。 ・もっと行ってほしいです。 					
15	遊びを通じた友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	52%	45%	2%	0%	1%	0%
		44人	38人	2人	0人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・まだ、その年齢に達していない。 ・十分かわれていると思いますが、じょうずにかわれているかは不安です。わがままやイタズラしていないか等。 					
16	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	42%	45%	7%	1%	5%	0%
		36人	38人	6人	1人	4人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・よくわからない。(3) ・健康づくりへの取り組みがどのようなものかわかりません。 					

「生活」について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
17	給食の献立内容については	75%	21%	2%	0%	1%	0%
		64人	18人	2人	0人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・和食メインで、洋食も少し増やしてもらえれば…。 ・季節の果物が入ると、より良いと思います。 					
18	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	72%	28%	0%	0%	0%	0%
		61人	24人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							
19	基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	67%	25%	5%	1%	2%	0%
		57人	21人	4人	1人	2人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・まだできない。 ・園でやっていただいているので、家でもできるようになりました。 ・わからない。 ・2歳児クラスの前半、手洗いうがいは汚れた時だけだった。 ・お手ふきタオルが不衛生。 					
20	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	48%	40%	7%	1%	4%	0%
		41人	34人	6人	1人	3人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・わからない（2） ・うちの子はよく昼寝をしないとされたが、それは通路側に寝てて人の通りが気になって寝れていなかった。1年間その場所で寝てて、進級して新しい先生が気づいて奥に寝るようになったら、深く寝れるようになった。園でも、なぜ寝れないのか、親に言うだけでなく考えてほしかった。 ・5歳児の昼寝はいらないです。夜遅くまでねれません。せめて、夏休み明けくらいからはなしにする方向が良かったです。 					

21	おもむかずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	42%	27%	5%	2%	22%	1%
		36人	23人	4人	2人	19人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・まだ、その年齢に達していない。(2) ・不明。(2) ・未対応。 ・園の方からトイレの時期を教えてくれると言ってくれていたのですがあまりに遅く、こちらから言ったらスタートした。 ・入園時はずれていた。(2) 					
22	お子さんの体調への気配りについては	66%	29%	5%	0%	0%	0%
		56人	25人	4人	0人	0人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・鼻水を垂らしている子がいても、そのままになっていることがある。 					
23	保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	65%	25%	6%	4%	0%	1%
		55人	21人	5人	3人	0人	1人
《その他意見》							

問5 保育園の快適さや安全対策については

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
24	施設設備については	55%	34%	8%	0%	2%	0%
		47人	29人	7人	0人	2人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・園庭がない。 ・床暖房があると、なお良い。 ・園庭がほしい。 					
25	お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気になっているかについては	60%	33%	7%	0%	0%	0%
		51人	28人	6人	0人	0人	0人
《その他意見》							
26	外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	52%	39%	8%	1%	0%	0%
		44人	33人	7人	1人	0人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の朝、事務室に誰もいないのが気になります。 ・他の人も一緒に入ってきてしまうことを今の設備では防げないと思う。 					

27	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	62%	33%	4%	1%	0%	0%
		53人	28人	3人	1人	0人	0人
《その他意見》							

問6 園と保護者との連携・交流について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
28	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	44%	48%	6%	0%	1%	1%
		37人	41人	5人	0人	1人	1人
《その他意見》		・知らない間に終わってる。					
29	園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	59%	35%	4%	2%	0%	0%
		50人	30人	3人	2人	0人	0人
《その他意見》							
30	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	58%	33%	5%	5%	0%	0%
		49人	28人	4人	4人	0人	0人
《その他意見》		・シフト制のため、早めに知りたいです。					
31	送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	46%	36%	12%	4%	1%	1%
		39人	31人	10人	3人	1人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートに書いてあることと同じことを言う先生もいるので、他のことを話してほしい。 ・もう少し詳しく知りたいです。 ・たまに、先生がいないで帰る時がある。 ・先生による。 					
32	お子さんの関する重要な情報の連絡体制については	52%	41%	2%	2%	2%	0%
		44人	35人	2人	2人	2人	0人
《その他意見》		・ごめんなさい。どのような体制になっているかわかりません。					
33	保護者からの相談事への対応には	47%	46%	6%	0%	1%	0%
		40人	39人	5人	0人	1人	0人
《その他意見》		・あまり相談しないので、わからない。					

34	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、 残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	61%	25%	5%	2%	7%	0%
		52人	21人	4人	2人	6人	0人
《その他意見》		・利用なし。(4)					

問7 職員の対応について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
35	あなたのお子さんは大切にされているかについては	65%	29	5%	1%	0%	0%
		55人	25人	4人	1人	0人	0人
《その他意見》							
36	あなたのお子さんが保育園生活を楽しまれているかについて	61%	36%	1%	0%	1%	0%
		52人	31人	1人	0人	1人	0人
《その他意見》		・毎朝、行きたくないと言いますが、帰りは楽しそうです。					
37	アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	54%	26%	1%	0%	18%	1%
		46人	22人	1人	0人	15人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。(10) ・どのような配慮をさせているかわかりません。 ・対象外。(3) ・上の子が発達を疑われ、療育センター等へ行った。その後変化があるとは言えない。 ・いつも助かっています。 					
38	話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	64%	28%	6%	2%	0%	0%
		54人	24人	5人	2人	0人	0人
《その他意見》							
39	意見や要望への対応については	51%	34%	6%	5%	4%	1%
		43人	29人	5人	4人	3人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通して大きな不満はありませんが、普段の様子を写真に収めてほしい。 ・どうなっているかわからない。 ・どの先生に話せば良いのか、いない日がある時は…。 					

問8 保育園の総合評価

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
40	総合満足度は	66%	29%	5%	0%	0%
		56人	25人	4人	0人	0人
《その他意見》						

保護者アンケート調査結果（設問別「満足度」総合）

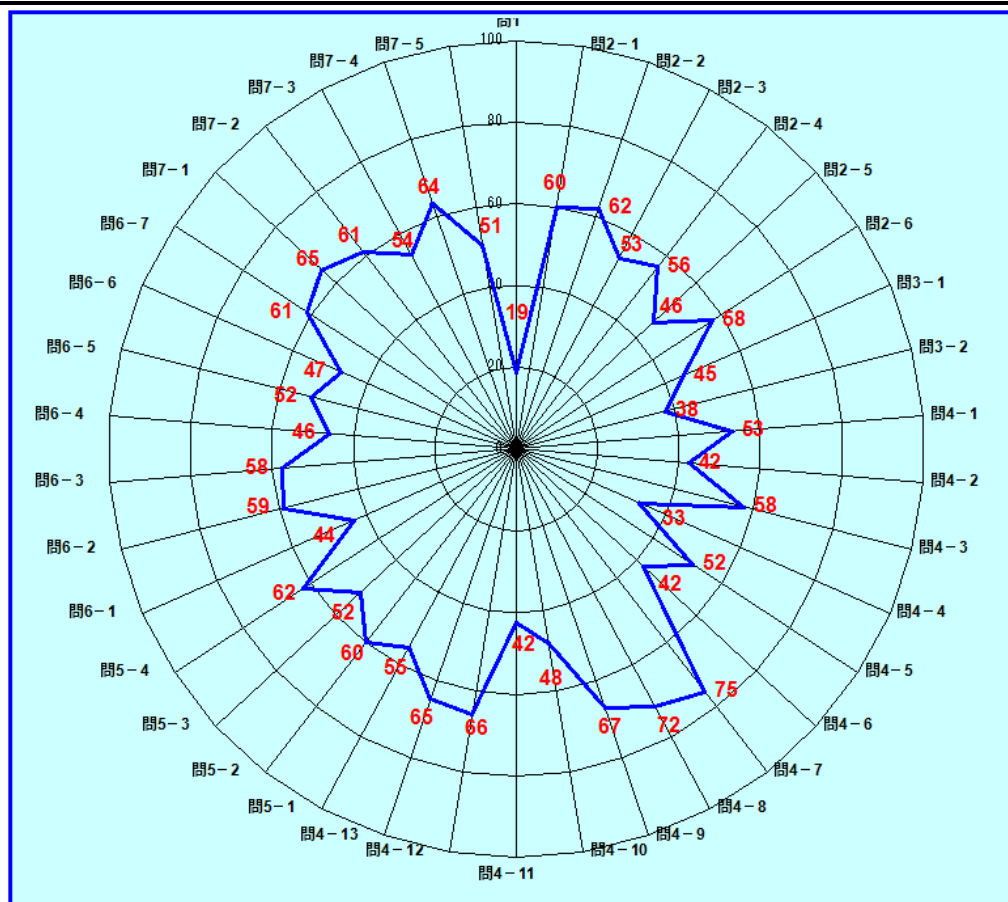
（注）レーダー数値は設問別「満足度」回答率（小数点以下は四捨五入）

調査対象園舎： 有限会社おひさま 磯子おひさま保育園 横浜市磯子区磯子 3-10-8

回答世帯数：89 世帯中 85 世帯 <0 歳児(12 世帯)、1 歳児(16 世帯)、2 歳児(15 世帯)、3 歳児(18 世帯)、4 歳児(11 世帯)、5 歳児(12 世帯)、未記入(1 世帯)>

定 員： 90 名

調査期間： 2017/04/14 ~ 2017/11/22



磯子おひさま保育園

園長 加藤 光胤

<評価に取り組んだ感想>

今回、第三者評価に取り組むにあたり、保育士自己評価を行いました。その後、職員全員で一つ一つの項目について話し合い、確認したり、意見交換をし、保育を見直す勉強会となりました。

実際に2日間評価員の方に来ていただきました。職員の意識が保育に対し高まり、マニュアルの整備等ができて良かったと思います。

勉強会が持てたことはとても良い経験となりました。自信を持って行われていることが明確化され、学びもあり、今後の課題も見えてきました。

質を高められるような取り組みを今後もしていきたいと思います。

<評価後取り組んだこととして>

・評価の際に、どんな質問内容だったか？報告し、自己評価についても全職員で共有し合いました。

・保育園の弱みの部分を強化することや、子どもたちのために何が必要かを考えて保育し、より良い方向を導き出していきたいと思います。